

カルシユの足跡を追つて

◇23◇

若松 秀俊

フリッツ・カルシユ 縁」を暗示している、オドル・アクセンフェの妻エンメラは、ドイツのフリーデルンが筆者・ゴードスベルクで者に真顔で語ってくれ父ゴットフリート・アクた。

センフェルト、母ベルタ エンメラはベツツドルナを発見した人で眼科・ホイザーの間に、五人フでの生活を経て、ボン学の世界の権威である。

姉弟の長子として生まれ 大学で語学・古典文学・神学を学び、さらにマールブルク大学でそれらを学んだ。ここでフリッツ

一八九六年十月五日付の地方紙に、その二日前のエンメラの出生が父の名とともに報道されている。このころは、良家の子女が生まれると命名と出会った。彼女は、と一九三〇(昭和五)年に前に周囲に知らせること

親類と縁者

(中)

が半ば慣例であった。そ語、ヘブライ語を好んでの横に「Japan」と学んだが、健康上の問題という文字が書かれた記事もあって大学を卒業するが載っているのは、もち

学者や芸術家を輩出

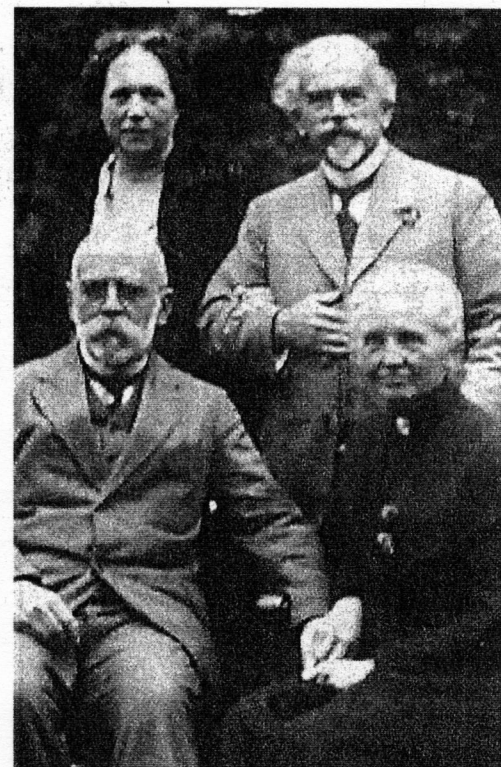
として、直接にアクセンフェルト教授の講演を聴いている。これが増田がある。

このとき、エンメラの筆者に語ってくれた。このとき、エンメラの

このとき、エンメラの筆者に語ってくれた。このとき、エンメラの

このとき、エンメラの筆者に語ってくれた。このとき、エンメラの

エンメラの両親ゴットフリート夫妻(前列)と伯父のテオドル夫妻



ンコンクールでピアノ「きんちゃん」に出てくるトとして優勝した経歴をおおばさんや魔法使いのもつ。当時はナチス政權 衣装に通じる装いであ

女は自由に演奏活動ができなかつた。しかし戦後はフライブルク国立音楽大学の教授となった世界的なピアノリストであり、同時にチェンバリストであった。

エディットは多数の日本人ピアノリストを弟子に、度々来日し各地で演奏している。二〇〇一年四月に亡くなったと、偉大な演奏家として、世界中から哀悼の意がさげられた。このことは、米国の『タイム』や『ニ

ユースウィーク』に類したドイツの代表的雑誌『シュピーゲル』にも掲載された。絵の上手な叔母ユーラ

その当時のことを両親からよく聞かされたという。 (東京医科歯科大学大学院教授) 文中敬称略